

未来のエスキースを描く。



東北工業大学

第 39 回東北建築フォーラム
第 18 回「東北の建築を描く展」作品募集

来年の 2025 年、第 40 回を迎える「東北建築フォーラム」から
新たに企画をリニューアルします
「東北の建築を描く展」は本年の第 18 回で最終回となります

また
本年解体される工大キャンパス 5 号館(建築学科校舎)の
サヨナラ企画として
「5 号館」を描いた出品者の皆様へは記念品を贈呈します



第 17 回 中学校の部 大賞「夜空に浮かぶ日本製紙」永山 璃音(石巻市立青葉中学校)

第18回「東北の建築を描く展」応募要項

主催 東北工業大学

共催 建築学部 建築学科

18回目を迎える本展は、東北6県にある建築、都市、街並み、集落などに広く関心を持ってもらうためにおこなうものです。東北の建築、建築のある自然や生活風景、未来に残したい建築や風景を自由な発想で描いてください。とくに、本年解体される建築学科の学びの校舎「東北工大八木山キャンパス5号館」を描いた出品者の皆様全員へ、5号館サヨナラ企画として記念品を贈呈します。

1-応募作品出品規定

油絵、日本画、水彩画、版画、イラスト、建築パース、CG等平面の作品。(写真を除く)

応募資格

一般の部(16歳以上、経歴等は問いません)

高校の部(高校生)

中学校の部(中学生)

小学校の部(小学生)

作品内容

東北にある建築、または建築のある風景、現代建築、歴史的建築、集落、街並み、遺跡、未来に残したい建築や建築のある風景など。

出品点数

1人2点まで

出品サイズ

F10(53.0×45.5cm)以内

額縁

小学校の部、中学校の部、高校の部は額縁不要

一般の部は幅3cm以内の仮縁をつけてください

ガラス入りの額はガラスを外してください。(アクリル板は可)

出品料

なし

2-応募方法

登録

応募を希望するかたは事前に応募登録が必要となります。東北工業大学建築学部建築学科のホームページの応募フォームから申込みください。学校・絵画教室での団体応募の場合はexcel表に入力し(ホームページからダウンロードください)、下記の事務局へメール添付で申し込みください(web環境がない場合は、申込用紙を郵送しますので、下記の東北建築フォーラム事務局へご連絡ください)。

〒982-8577

仙台市太白区八木山香澄町35-1

東北工業大学 建築学部 建築学科

東北建築フォーラム事務局 宛

電話:022-305-3611 E-mail:archsu@tohtech.ac.jp

東北の建築を描く展ホームページ <https://www.arch.tohtech.ac.jp/exhibition>

応募登録期限 2024年9月2日(月)必着

作品提出期限 2024年9月8日(日)

3-作品提出

小学校の部と中学校の部、高校の部は学校毎に作品をまとめて提出しても結構です。作品の提出は、直接搬入または委託搬入のいずれかの方法で提出してください。

直接搬入

日時:2024年9月7日(土)13:00~16:00

8日(日)13:00~16:00

直接搬入場所

東北工業大学 建築学部 建築学科 設計製図室

住所

〒982-8577 仙台市太白区八木山香澄町35-1 (八木山キャンパス6号館1階)

委託搬入

応募申込の搬入方法を**委託搬入**にしてください。
作品の送付方法とともに**ヤマト運輸の送付用伝票、返送着払い伝票**をお送りします。
これらの用紙に出展者の住所、氏名などを記入し、
返送着払い伝票と一緒に梱包して下さい。梱包した作品に**送付用伝票**をそえて、最寄りのヤマト運輸(クロネコヤマト)営業所から **2024年9月8日(日) 必着**で発送して下さい。

4-賞

大賞

一般の部	1点	賞金	20万円
高校の部	1点	賞金	7万円
中学校の部	1点	賞金	5万円
小学校の部	1点	賞金	3万円

東北工業大学 学長賞

高校の部	1点	賞金	5万円
中学校の部	1点	賞金	3万円
小学校の部	1点	賞金	2万円

優秀賞

各部門

奨励賞

各部門

審査委員賞

審査委員につき各1点

入選

各部門

※ 入賞者には賞状、記念品を贈呈します。

表彰式

入賞者の表彰式を **2024年10月19日(土)**に展覧会会場で行います。

審査結果

入選者以上を作品集やインターネットなどで公表します。

5-展覧会

入選した作品の展示を下記の会場で行います。

日時：2024年10月18日(金)～10月22日(火) 10:00～19:00 (22日は16時まで)

展覧会会場

せんだいメディアテーク 6階ギャラリーa (仙台市青葉区春日町2-1)

6-作品返却

直接搬入作品

返却場所：直接搬入作品は、展覧会終了後、直接搬入場所(東北工業大学八木山キャンパス6号館1階「設計製図室」)で返却します。

返却日時：2024年11月2日(土)11時～16時

(返却日時が不都合の場合は、事務局にご連絡下さい)

委託搬入作品

委託搬入作品は、ヤマト運輸(クロネコヤマト)により応募者に着払いにて搬送されます。

7-審査委員

審査委員長 平垣内 清 (宮城教育大学教授)

審査委員 安住 英之 (日本画家)

柴田 治 (アトリエ光彩舎)

中村 琢巳 (東北工業大学建築学部准教授)

8-その他

- ・会期、保管中の作品については、十分注意して取り扱いますが、不可抗力による損害については、責任を負いません。
- ・主催者は、入賞、入選作品を当展の広報や宣伝のため、また作品集販売等に自由に使用する事が出来ます。
- ・個人情報保護法に基づき応募に関する情報は主催者が管理し、本事業の運営以外の目的で使用することはありません。

後援(予定)

宮城県

仙台市

日本建築学会東北支部

日本建築家協会東北支部

宮城県建築士事務所協会

東北工業大学同窓会

NHK 仙台放送局

仙台放送

TBC 東北放送

KHB 東日本放送

三ヶ所テレビ

河北新報社

東北工業大学八木山キャンパス「5号館」について

昭和43年(1968)に竣工した5号館は、山田守建築事務所の設計、鹿島建設の施工による学校建築です。山田守(1894-1966)は日本武道館や京都タワーといったインパクトのある造形で知られる、近代建築運動の先駆的な建築家です。5号館は山田守没後の竣工でその関わりは詳しくは明らかでないものの、階段ホールと展望台がタワーをつくる外観、水平を強調する伸びやかな庇やベランダ、最上階に設けられた浮遊感のある螺旋階段などにその作風をみることもできます。また耐震補強技術の草分け的建物でもあり、宮城県沖地震(1978)後、当時の建築学科・川股教授を中心にXの形状が連続する鉄骨ブレースで耐震補強された5号館は、半世紀にわたり工大建築学科の学びの校舎として親しまれてきました。一般非公開となります。「東北の建築を描く展」出品制作のための見学希望は、東北建築フォーラム事務局へお問い合わせください。



